



稲の実りを子どもたちの成長に
重ねあわせて・・・

“撮っておき” の たかはま 【第13回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

稲が広がる風景 ～翼小学校「学童農園」～

現在の翼小学校区の大部分は、かつては田畑が広がる地域であった。市域の約1割を対象とした高浜中部特定土地区画整理事業(昭和51年～平成元年)や高浜東部土地区画整理事業(平成5年～10年)により、住宅地や商業地として大きく変容。若年層の人口流入にともない、平成14年4月に翼小学校が開校した。

しかし、小学校の東には昔と変わらない風景が一面に広がっている。その一部は「学童農園」として、5年生児童の体験授業の場となっている。5月の「どろんこまつり」で、イベントをかねて楽しく代かき(田の土と水をこねて柔らかくし、凸凹をなくす整地作業)を行い、少し寝かせた後、6月に田植えを実施。子どもたちの指導や水田の日常管理は、翼小学校区内在住で農業に従事している有志で結成した「稲穂会」が行っている。10月には稲刈り、12月には保護者をはじめとする地域住民を交えて、収穫したもち米を使った餅つき会が行われる。

「稲穂会」代表の兵藤紀美雄さんは「米づくりには八十八の苦労があると言われるほど、多くの手間がかかります。稲の実りを子どもたちの成長に重ねあわせ、食育に貢献できればという想いで、自分たちも楽しみながらお手伝いしています。」と語る。子どもたちからは「これからはお米を大切に食べます。」といった声が聞かれるなど、多くの人の手で自分たちの「食」が成り立っていることを実感したようです。

日々、青々と成長する稲。まちなかの賑わいとは対照的な、ほっと一息くつろげる憩いの空間がここにある。

LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!

広報 **たかはま**

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。

VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。